

残席わずか

システム開発現場で使える「品質の見える化」と「定量的品質管理」実践法 (4119236)

本セミナーは、長年、品質問題を抱えていたシステム開発本部組織をSI分野で日本初のCMMレベル5達成に導いた経験を有する講師が担当いたします。定量的データの活用は、統計グラフを作成することに終始してしまいがちですが、本セミナーでは、定量的データを活用して品質向上を実現するコツについてお伝えします。

開催日時	2019年6月28日(木) 10:00-17:00
カテゴリ	IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 詳しく見る
講師	関弘光 氏 【ヒューマン多岐オリエイ・ラボ 代表、元 富士通 (株) 人材開発部 シニア・レクチャララ上級教育士 (工学)】 筑波大学工学部経営工学科を卒業し、富士通 (株) 入社。品質管理部門、教育訓練部門を経てシステム開発部門において通信・金融・官公庁等のシステム開発マネジメントに携わる (途上、夫夫工学研究所主任研究員)。近年、品質問題を抱える本部組織の品質改善に従事し (主任部長、品質保証部長)、S1分野で日本初の CMM&CMMIレベル5を達成、社長賞と最高品質賞を受賞。定年後も現職し、同社人材開発部門において「わくわく」元気盛る品質改善実践を想い、多くのマネージャーおよびリーダーと品質改善プロフェッショナルを育成。2011年、富士通を退職。その後、「人間力醸成」を基盤にした各種セミナー・講演・企業研修・コンサル等、3万人以上の方々の指導を行っている。 著書:『人間関係の品質マネジメント』ソフトウェアカリキュラム品質保証システムの構築と実践』(S&R C) : 編者 関弘光、著 弘光、富峰 幸生。 ■日刊工業新聞社発行「工場管理」2018年2月号に講師の「人間関係のヒューマンエラー防止法」についての特集記事が掲載。 【注】CMM:世界的に著名な改善モデル Capability Maturity Model and CMM&CMMI are registered in the U.S. Patent and Trademark Office.
参加費	J U A S 会員 / TC : 23,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり) 消費税込み、テキスト込み 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋場内明2丁目ビル2階)
対象	現場の担当者、プロマネ、幹部社員、品質管理責任者、定量的品質管理に取り組んでいる方、関心のある方など (組み込みソフト系の方も歓迎いたします)。 詳細
開催形式	講義、グループ演習
定員	28名
取得ポイント	※ITC実践ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITC認定時間	6

主な内容

本セミナーは、長年、品質問題を抱えていたシステム開発本部組織をSI分野で日本初のCMMレベル5達成に導いた経験を有する講師が担当いたします。定量的データの活用は、統計グラフを作成することに終始してしまいがちですが、本セミナーでは、定量的データを活用して品質向上を実現するコツについてお伝えします。

『新たに定量的品質管理を開始されようとしている方』または『定量的品質管理がうまく行っていない方』を想定して、成功させるための基盤である「動機付け法」、「人を動かす仕組み考案のコツ」をお伝えし、具体的な実践法として「テンプレート・デザイン法」、「各種統計手法の活用法」等を探り上げ、演習を通じて会得いただける構成にしています。また、講師の実践経験に基づいた「具体的なデザイン事例」や「当時の悩み」「苦労話」等を併せてご紹介させていただき、職場で即、役立つ内容にしたいと考えております。講師は各種企業、大学院、セミナーなどにおいて、約3万人以上の方々への指導を行った経験があります。

■受講後の修得知識：

- ・「品質の見える化実現方法」とデザイン方法、「定量的品質管理プロセス」、構築のポイントなど。

■内容

第1章 定量的データによる品質の見える化

1. 1 人間重視の品質改善

1. 人間重視の品質改善とヒューマンファクター
2. 「わくわく」感と人間力醸成の構図
3. CMMIにおける定量的品質管理

1. 2 人を動かす仕組みの考案

1. 見える化と定量化の違い
2. 演習1：「見える化と定量的品質管理」
3. 人を動かす「見える化」のコツ

第2章 プロジェクトを支える定量的品質管理

1. 演習2：「何故、品質が良好と言えるのか」
2. 何故に答える「品質の見える化」
3. 「見える化」の範囲設定
4. 人間の特性を考慮した実践上のポイント

第3章 定量的品質管理のためのデザイン・ワークショップ1

3. 1 「品質の見える化」の必要性

3. 2 定量的データを活用した品質判定

1. 演習3：「品質判定への動機付け」
2. 演習4：「品質判定テンプレートのデザイン」

3. 「第三者検証」と品質判定への「動機付け」事例
4. 品質判定とテンプレート・デザイン事例

第4章 定量的品質管理のためのデザイン・ワークショップ2

- 4.1 定量的品質管理の悩み
 1. 定量的品質管理へのステップアップ
 2. 定量的品質管理の悩み
- 4.2 悩みN1：「どのように目標値を決めるか」
 1. 「どのように目標値を決めるか」
 2. 「目標値」を保有させる施策の事例
- 4.3 悩みN2：「どのように動機づけするか」
- 4.4 悩みN3：「定量的品質管理の仕組」
 1. 「どのように定量的品質管理を行うか」
 2. 定量的データによる品質の「見える化」
 3. 「定量的品質管理」と「品質の見える化」事例
 4. 統計データを活用した品質の「見える化」
 5. 「定量的品質管理」体系デザイン事例

第5章 定量的品質管理と統計手法の活用

- 5.1 統計データの種類と留意点
- 5.2 統計的手法の種類
 1. パレート図の例
 2. 散布図の例（全体工期と全体工数の関係）
 3. 演習4：「統計データの分析（散布図）」
 4. 演習5：「統計データの分析（四分位数）」
 5. 演習6：「統計データの分析（箱ひげ図）」
 6. ゾーン分析&時系列グラフの例

第6章 定量的品質管理と品質カルチャー

第7章 まとめ（「定量的品質管理のポイント」、「何から開始したらよいか」等）

（注）演習を交えて実体験いただき、理解の促進に努めます。